

—エンドユーザーである市民との連携をめざして—

水環境NGO・NPOのご紹介

■特定非営利活動法人 びわこ・水ネット

〒520-0055 滋賀県大津市春日町一丁目5番 アルプラザ大津5F

Tel/Fax 077-525-1350

E-mail mizu-net@npo-jp.net

ホームページ <http://biwako-mizunet.com>



役員

代表者 理事長 山田 淳（立命館大学名誉教授） 副理事長 黄瀬 紀美子（企業代表）
監事 竺 文彦（龍谷大学教授） 事務局長・理事 田中 伊三雄（コンサルタント顧問）

概要

びわこ・水ネットは、2003年3月に「第3回世界水フォーラム」が滋賀、京都、大阪の琵琶湖淀川流域を会場として開催されたことをきっかけに、流域に住むすべての人々に望ましい琵琶湖と下水道のあり方について、住民、行政、専門家、NPO等多様な関係者を交えて議論し、その結果が県や国の施策、そして私たち一人ひとりの取り組みに反映されるような仕組みをつくることを目的に設立しました。

安全で豊かな水環境を実現し、それを次世代に引き継いで行くためには、水を利用する人々が水環境に関心と責任を持つ必要があります。水環境を良くすることを考えるとき、私たちが日常出している排水をきちんと管理するという最も根本的な部分をともしれば忘れがちになっています。

一般住民にとって下水道は、河川や道路、街づくり等と比較して関心が薄いのが実情です。私たちは、まず下水道に関する情報を発信し、下水道に関する啓発を行うとともに、住民視点で下水道や水環境を考えて課題を検討し情報を収集整理し、これらの活動を通じて下水道のあり方について提言をまとめます。

活動内容

●住民等の意見収集に関する事業

・下水道や環境問題について住民アンケート調査を行いました。

・湖南中部浄化センター・水環境科学館で行なわれた〔下水道フェア〕への来場者にアンケート調査を実施し、イベントの評価、環境教育の効果等の定量的な把握を行ないました。

●下水道および水環境保全に関する普及啓発並びに地域社会などにおける環境教育

・琵琶湖に関する水の歴史や取組み、実際に水を浄化するための施設見学や身近な水環境にふれあう場を設けることによって、水環境への関心と理解を深めるための体験学習を実施しています。



アンケートの実施状況



浄化センターの見学

・船上調査研究ツアーとして、琵琶湖上へ船で出ていき、琵琶湖の概要等の講義を受けたり、実際に採水して水質検査をしたり、透明度を測ったりする体験学習を行いました。

・琵琶湖の周辺の浅瀬に生えている「よし」は水質浄化作用やよし原で生物を育むなど、自然環境の保全に大きく寄与しています。「よし」について幅広く知識を得るための学習をし、この「よし」を材料としたいろいろな工作の実習をする講座を開催します。

・水環境連続講座は毎年テーマを設け、下水道やびわこ等の環境についての理解を深めるため講座を開いています。受講料として500円をお願いしているため、(500円玉一枚の)ワンコイン講座とも呼んでいます。

●ワークショップ・セミナー等産学民参加に関する事業

・超高度処理下水道に関するワークショップは、琵琶湖の水環境保全における下水道の役割という専門的な問題について、住民の視点からわかりやすく理解し、話し合うことを目的とし、国土交通省国土技術政策総合研究所、滋賀県琵琶湖環境部、滋賀県立大学環境科学部、立命館大学理工学部の協力を得て行いました。



よし工作



ワンコイン講座



ワークショップ



びわこ環境研究センター公開セミナー

●関係団体との協力・ネットワーク作りに関する事業

・立命館大学びわこ環境研究センターの主催で行われる公開セミナーに協賛するとともに研究成果の発表を行いました。

●その他

・国および自治体からの受託事業等、滋賀県立水環境科学館の指定管理者アクア エコ リサーチ アソシエーションの構成員として、同館の指定管理者としての活動も行っています。

会 費 (年会費)

正会員：6000円、賛助会員：20,000円、準会員：無料〔会員数：個人会員31名、法人会員：2社〕